

# ヘリンボーンフローリング 施工要領

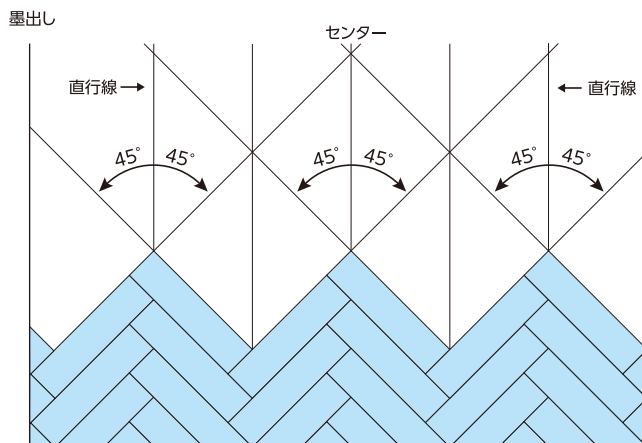
## 1. 施工前

- 合板接合部の目違い、合板の張り込みが合っているか確かめ、表面を掃き掃除してください。
- 実際の施工前に、接着剤を塗布していない床に仮並べして確認します。

## 2. 施工

- ヘリンボーンフローリングは長手方向に雄、雌実が有りますが、エンド部分は雄実が有りません。(すべて雌実となります。)そのため雌実同士が突き付けになる部分が出てきます。気になる方は合板などで「雇い実」を作って入れるようにしてください。
- ヘリンボーンフローリングは墨出しした部分だけフローリング用のステープル釘と接着剤で留め、その他の部分は2液性のエポキシボンド(推奨 コニシボンド: E350R)で接着工法にて施工してください。この際、ウレタンボンドを使わずに必ずエポキシボンドを基準線以外全面に塗布してください。全体をステープル釘と接着剤にて施工する場合はウレタンボンドでも可能です。なお、エポキシボンドの場合はオープニングタイムを必ず守り、混ぜた後15~20分以内に必ず接着してください。
- 接着工法で施工した箇所は、施工直後にすぐにウェイト(重し)を1日置いて、下地材と床材の間に空気を完全に抜くようにしてください。重しを置かないと突き上げ事故の原因となります。接着工法の場合は下地のごくわずかな不陸が、床材の段差等になって現れますので、下地を水平にしてください。

- 施工後、高温になったり湿度が高い状態になる可能性がある場合は、0.3mm程度の隙間を設けてください。
- ヘリンボーンは墨出しを行う時、45度線と直行線の両方を下地に付けた方が便利です。
- ヘリンボーンは壁間の長さを測り、そのセンターから墨出しし、左右の壁面との取まりが均等になるように割り付けられることをおすすめします。
- 床の面積や形状にもよりますが、壁際等斜めに切断割り当て施工されるため、数量は床面積より多めに必要となる場合もございます。
- 壁際は巾木で隠れる程度の隙間を開けてください。



### 免責事項のご案内

- 商品到着後、施工前に商品の内容をお確かめください。  
施工後のクレーム(曲り、反り、膨張、収縮、割れ、日焼け、貼り間違い等)は、応じかねますので、必ず検品をしてから施工を始めてください。施工前に、商品の不具合が判明した場合は、直ちにご連絡をお願いします。弊社の責めによる場合は、速やかに代替品の発送手配をさせていただきます。
  - クレームが発生し、商品の設置や取り外しなどの工事を行った場合、当社製品が直接の原因となるクレーム以外は、費用の負担はいたしかねます。また、商品開梱後、切削された後の交換及び返品は、お受けいたしかねます。
  - 無垢材の性質上、色柄の違いなど、やむを得ないものは、クレームの対象外とさせていただきます。
- お客様におかれましては、こちらをご理解いただいた上でご採用くださいますようお願い申し上げます。